

日本FP協会の現在の主な活動

① 全般的な活動

1 ファイナンシャル・プランニングに関する知識の啓発と普及

■ パーソナルファイナンス教育(金融経済教育)

学校での出張授業や各種イベントなど様々な活動に取り組んでいます。



■ 生活者向けイベント(FPフォーラム)の開催

日本全国の50支部で誰でも参加できるFPフォーラム(セミナーおよびFP相談会などのイベント)を随時開催しています。



■ 電話での無料体験相談

生活者からの「暮らしとお金」に関する疑問や質問に、「FP 広報センター」スタッフ(CFP®認定者)がお答えしています。

■ 対面での無料体験相談

暮らしとお金のFP相談室(東京・大阪・札幌・仙台・金沢・名古屋・広島・福岡)にて定期的に無料体験相談を実施しています。

※東京ではオンラインによる相談も行っています。

■ 被災された方々の生活再建

災害発生後の生活再建をサポートするため、相談会、電話相談などの取り組みを、被災地の実情に応じて随時行っています。

■ 行政機関と連携した取り組み

中央官庁・都道府県や市町村等行政機関が推進する事業に、CFP®・AFP認定者を派遣する取り組みなどを行っています。



■ 広告および広報活動

ニュースリリース、広告・パブリシティなどを通じて協会活動やCFP®・AFP資格の認知普及活動を行っています。

2 ファイナンシャル・プランニングに関する調査、研究及び情報の提供

FPの普及・広報活動推進の一助とすることを主な目的として、生活者を対象とした調査や、CFP®・AFP認定者を対象とした業務状況やビジネス事例等に関する調査などを行っています。

3 ファイナンシャル・プランニングに関する書籍の発行

ファイナンシャル・プランニングを学ぶための入門書、テキスト、問題集およびパーソナルファイナンス教育(金融経済教育)の普及を図るための小冊子等の制作・発行を行っています。



4 国内外のファイナンシャル・プランニング関係機関との交流

各国・地域のFP組織と積極的に交流し、世界におけるファイナンシャル・プランニングの普及およびFP 資格の質の維持・向上を目指して活動しています。また、国内においては、法人賛助会員となっている企業等と連携し、さまざまな活動を行っています。

5 ファイナンシャル・プランナーの教育と資格認定試験の実施

CFP®認定者・AFP認定者に向けての取り組み

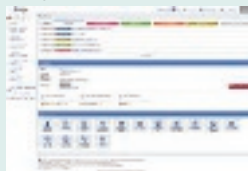
CFP®・AFP認定者のFP知識およびFP実務能力の維持向上を図るためのさまざまな取り組みを行っています。

- 会報『FPジャーナル』の発行



- FP継続教育・資格更新手続き
- FP実務能力向上のための研修の開催
- FP関連情報の提供(ビジネス情報提供等)

- 会員ホームページ『Myページ』の運営



- 会員向けイベントの開催 (FPフェア等)



CFP®資格・AFP資格の認定および試験の実施

高い倫理観と優れたFP実務能力を持ったCFP®資格・AFP資格を認定するためのさまざまな取り組みを行っています。

CFP®資格・AFP資格の認定

CFP®資格審査試験の実施

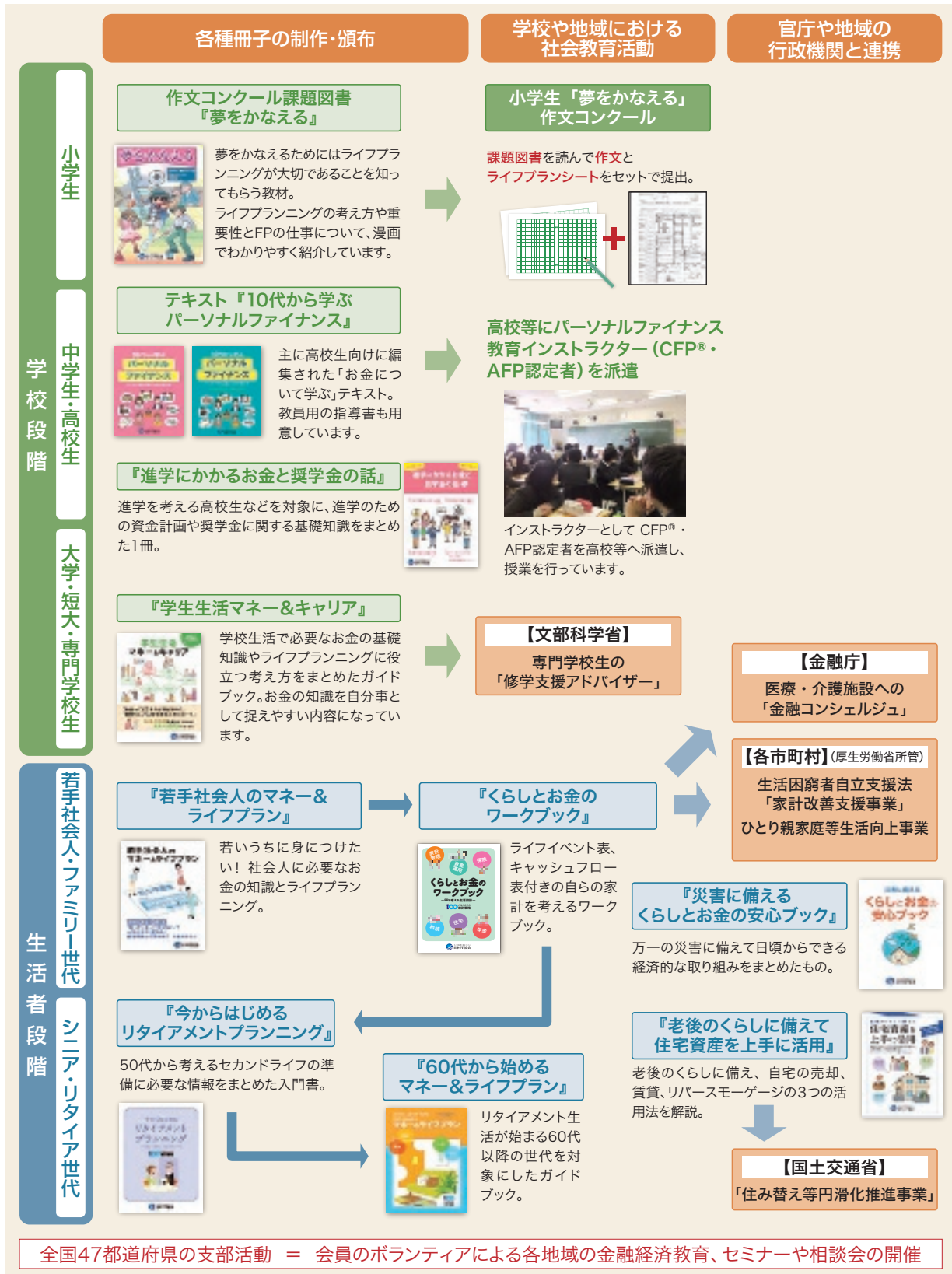
会員倫理規程等の順守

ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定の実施

厚生労働大臣指定の試験機関として、ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定を実施しています。

② 公益事業活動（金融経済教育、FP相談）

社会教育の推進を図るNPO法人として、各世代向けの金融経済教育や官公庁および全国各地の行政機関と連携したFP相談などの公益活動に取り組んでいます。



③ 公益事業活動（行政機関との連携）

近年、激変する経済環境下において行政機関からFPが注目されるようになってきました。行政機関からの要請に応え、CFP®・AFP認定者を派遣するなどの取り組みを全国で行っています。

金融庁 医療・介護施設への「金融コンシェルジュ」

金融庁の官民ラウンドテーブル・作業部会「高齢化社会と金融サービス」の報告書に基づき、医療、介護サービス利用者が抱えるお金に関する悩みに中立的な立場から相談に乗るため、CFP®認定者等を病院等医療施設に派遣しています。

文部科学省 専門学校生の「修学支援アドバイザー」

文部科学省の「専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業」に協力。「修学支援アドバイザー」として都道府県からのセミナーや相談会の要請に対して、パーソナルファイナンス教育インストラクター等の派遣を行っています。

国土交通省 「住み替え等円滑化推進事業 (旧住宅資産活用推進事業)」

中古住宅の活性化のために行う「住み替え等円滑化推進事業(旧住宅資産活用推進事業)」に採択され、住宅資産活用及び安心な住まい先の確保のための資金計画等のアドバイスができる専門家を育成するための「研修事業」を平成27年度～29年度にかけて全国で実施しました。

中央省庁や地方自治体等 行政と連携した被災者支援活動

東日本大震災等の震災や台風・大雨などの自然災害により被災された方の家計相談等を中央省庁や地方自治体等と連携し、支部で実施しています。

厚生労働省所管 生活困窮者自立支援法 「家計改善支援事業」

生活困窮者自立支援法に基づく家計改善支援事業について、支部と連携して自治体へ相談員を派遣しています。

厚生労働省所管 「ひとり親家庭等生活向上事業」

ひとり親家庭等生活向上事業に基づき、自治体からの要請に応じてひとり親家庭に向けた家計管理に関する講習会の講師や個別相談の相談員を派遣しています。

日本FP協会の会員構成

会員種別	一般会員	協会の目的に賛同して入会する個人
	資格認定会員	協会の目的に賛同し、協会が定める試験に合格して入会する個人(CFP®、AFP)
	法人賛助会員	協会の目的に賛同して入会し、協会が行う事業活動を支援する企業および団体

日本FP協会の規程一覧

- ・定款
- ・会員規程
- ・会員倫理規程
- ・業務基準規程
- ・懲戒規程
- ・CFP®認定基準規程
- ・AFP認定基準規程
- ・継続教育規程
- ・会員に対する情報公開と意見公募規程

各規程はこちら



日本FP協会の組織

ブロック・支部	全国8ブロック・50支部		
事務局	人事総務部	総合企画課	企画立案、総合調整、協会内部の統制
		総務課	総務・法務などの総務全般
		人事課	人事・研修
	財務部	システム課	情報システム全般の企画、運用、管理
		財務課	予算、決算、税務等経理全般、資金運用とその管理全般
	総合教育部	パーソナルファイナンス教育課	高校・大学等や生活者へのパーソナルファイナンス教育の普及
		FP教育課	AFP認定研修、継続教育、実務研修、認定教育機関担当
		FPジャーナル課	会報『FPジャーナル』会員ホームページのコンテンツ制作
	試験業務部	出版課	CFP® 資格標準テキスト、CFP® 問題集等の制作、出版
		国際課	国際CFP® 組織FPSBとの提携関係の維持・管理、海外FP組織等との連携
		試験企画課	試験全般の企画、統括
	地域推進部	試験事務課	試験運営および出願等の事務
		地域推進課	ブロック・支部を通じた地域でのFP普及活動
広報部	広報課	協会資格のブランド向上、FP普及のための広報活動、FP業務分析や実務支援につながる情報・データの収集と発信	
	会員業務部	会員業務課	会員登録・資格認定業務
会員サポート課		問合せ総合窓口、会員データ分析	
FP推進課		法人賛助会員をはじめとする法人窓口、FPフェア、FP推進全般	
監査部	監査課	コンプライアンス推進、内部監査、監査支援	
	会員倫理課	倫理委員会事務局、倫理に関する情報発信	
大阪事務所		西日本の拠点	

(注) 理事会や諮問委員会等の議事内容要旨は「Myページ」にて情報公開しておりますのでご覧ください

個人情報保護方針

特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(以下「当協会」という)は「一般市民向けのファイナンシャル・プランニングの啓発及び普及」と「専門家であるファイナンシャル・プランナーの養成」を柱に金融経済教育の推進を図ることにより、わが国の経済並びに国民生活の向上に寄与していくことを目的としております。ファイナンシャル・プランニングの専門業務はお客様からの情報開示と厳正な情報管理があってこそ成り立つものであります。こうした専門家を養成する立場からも、当協会では、個人情報の取扱いを適切に行うことが社会的責務の第一であると考え、次のとおり個人情報保護指針を定め、個人情報の保護に関する法律をはじめとした法令その他の規範を順守し、個人情報の保護に万全を尽くしています。

詳細はこちら





AFPマーク 使用ガイド

AFP 認定者のみの特典！

AFP マークを使うことができます。

AFP (アフィリエイトド ファイナンシャル プランナー) 資格を保持していることが、一般の人々にもはっきりわかるために AFP マークがあります。

このマークを使用することによって、生活者は AFP 認定者であることをすぐに確認でき、かつ他の FP と識別することができます。

使用にあたっては以下の使用ガイドに基づいて AFP マークをご活用くださいますようお願いいたします。

1 AFP ロゴマークの使用方法

AFP (アフィリエイトド ファイナンシャル プランナー=日本 FP 協会認定資格) 認定者は、自らの文具用具 (名刺、封筒、レターヘッド、提案書など) に AFP ロゴマークを使用することができます。

AFP ロゴマークは図形 (炎の象徴) と AFP の頭文字をデザイン化した部分で構成されています。これらは常に一緒に使用してください。図形と頭文字をばらばらにして使用したり、何かを付け加えたりすることはできません。

また、AFP ロゴマークの使用は、個人にのみ認められているので、マークを使用の際は必ず認定者名のすぐ近くに配置してください。

2 AFP ロゴマークの印刷色

原則として図形部分は黒、青、赤いずれか、AFP の頭文字は黒色を使用しています。

青色はインキ No.DIC255、赤色はインキ No.DIC305 を使用してください。印刷を発注する際は、印刷会社にこのインキ No. を伝えることで、色指定ができます。

● BL1 色の場合



● DIC255+BL の場合



● DIC305+BL の場合



※「My ページ」よりロゴデータをダウンロードできます。https://members.jafp.or.jp/

3 AFP マークの使用許諾

AFP マークは、日本 FP 協会が使用許諾した AFP 認定者のみ使用できます。



退会したり AFP 資格更新未完了等により一般会員に移行した場合は、速やかにマークの使用を中止してください。

AFP マークとその使用方法などについての質問は、日本 FP 協会までお問い合わせください。

名刺の作成例

AFP マークは個人にのみ付与されるもので、企業や団体に付与されることはありません。したがって必ず認定者名のすぐ近くに「AFP または AFP (日本 FP 協会認定)」を入れるようお願いいたします。

注1. 名前の近くに「日本 FP 協会認定」を入れてください。
注2. 会社名・肩書き・他の保有資格の近くには「日本 FP 協会認定」は入れないでください。

<p>株式会社○○○○○○○事務所</p> <p>代表取締役</p> <p>日本 太郎 </p> <p>AFP (日本 FP 協会認定)</p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門〇-〇-〇 TEL03-XXXX-XXXX FAX03-XXXX-XXXX</p>	<p>株式会社○○○○○○○</p> <p>人事部</p> <p>課長</p> <p>日本 花子</p> <p>AFP (日本 FP 協会認定)</p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門〇-〇-〇 TEL03-XXXX-XXXX FAX03-XXXX-XXXX</p>
<p>○○○○○○○銀行</p> <p>FP 推進室部長</p> <p>日本 太郎 </p> <p>AFP</p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門〇-〇-〇 TEL03-XXXX-XXXX FAX03-XXXX-XXXX</p>	

ご利用にあたって

日本FP協会は、協会と会員に対する信頼と安心の向上を目的に、ブランド活動を実施しています。会員の皆さまにおかれましては、この統一イメージの形成にご理解とご協力をいただき、このマニュアルに即した適切な運用をお願い申し上げます。

基本使用方法

■使用対象

各個人会員の使用する「名刺」「封筒」「広告・チラシ」「ホームページ」に限ります。それ以外のものには使用できません。

■表記方法・表示位置

表示の種類は下記のタイプA～タイプDに限ります。それ以外は使用できません。指定された位置(会員氏名のすぐ近く)、指定サイズ等基本ルールを厳守のうえ、使用してください。特に注意が必要なのは、各個人に使用が認められていることが明確に判断できるように、指定マークを社名とは離し、各個人会員氏名のすぐ近くに配置することです。

故意に不適切な使用を行ったり、誤った使用が発見された場合、速やかに修正していただきます(注意、勧告等を行う場合があります)。会員が個人的に行う告知広告等の表現において、日本FP協会主催・後援・推薦といった虚偽や誤認を与えないよう留意の上ご使用ください。

指定カラー

■カラー表示



Trusty Blue
(トラスティブルー)

PANTONE	2756C
RGB	R30 G30 B117
HTML(HEX)	#000066
CMYK	C100 M100 K20
フィルム	JS-6628(3M)
日塗工	C77-30T
モノクロ	K80

■モノクロ表示



Promising Blue
(プロミシングブルー)

PANTONE	Process Blue C
RGB	R0 G149 B221
HTML(HEX)	#0099cc
CMYK	C100 M10
フィルム	JS-6612(3M)
日塗工	C69-50T
モノクロ	K30

表示の種類

■タイプA



■タイプB

日本FP協会会員

■タイプC



日本FP協会会員

■タイプD

日本FP協会会員



最小使用サイズ



日本FP協会会員

最小使用サイズ

名刺の作成例

■適切な例 必ず個人会員氏名のすぐ近くに配置してください。



■不適切な例

不適切な例は個人会員氏名のすぐ近くに配置されていない



印刷物、Web等の作成の際には、指定データをご使用ください。指定データ、本マニュアルの詳細については『Myページ』(会員ホームページ)よりご覧いただけます。使用方法などについては日本FP協会までお問い合わせください。